



## CONTENTS

\* 学童保育トライアル

\* カモミール月曆

\* サイエンス夢追い人育成プロジェクト

\* 夏休みこどもガイド

\* シンポジウム報告

\* 保育園たより

文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」



## 学童保育トライアル

### かもみールこども大学

### 参加者募集！

開催日：8月23日(木)、24日(金)

時間：8：45～17：00（8:15～受付開始）

お迎え時間：17：00～17：30（17:30 閉室）

場所：岐阜大学 大学会館2F 第6集会室、図書館、岐阜薬科大学 薬草園

対象：岐阜大学・岐阜薬科大学・岐阜女子大学・アピ株式会社に所属する  
教職員・社員の子ども（小学生）

参加費：1日2,000円×2日＝4,000円

（材料費、昼食・おやつ代、傷害保険料を含む。納入後の返金不可）

定員：25名（両日・全行程に参加できる方を優先します）

申込期間：7月2日（月）～7月13日（金）16：00まで

申込方法：参加申込書(G-group)を下記へメール・Faxで提出（持参可）

2日間

### 8月23日（木）

- ◆ 動くおもちゃ作り（岐阜女子大学）
- ◆ みつばち講座  
（はちみつ採集・試食体験 アピ株式会社）
- ◆ 岐阜大学図書館 探検ツアー



### 8月24日（金）

- ★ 薬草園の見学・体験ツアー（岐阜薬科大学）
- ★ マーブルタウン（町づくり・職業体験 岐阜大学）
- ★ 閉校式、集合写真



お申込み：岐阜大学男女共同参画推進室 E-mail：sankaku@gifu-u.ac.jp Fax：058-293-3396

## カモミール月暦 (室長からのメッセージ)

副学長(多様性人材活力推進担当) 林 正子

### 「多様性人材活力推進行動計画」の実施状況

#### —— 第15回 多様性人材活用推進会議 報告 ——

岐阜大学は、「多様な人材」の活躍が大学全体の教育・研究・社会貢献の活力の源泉であるとの認識のもと、「**岐阜大学多様性人材活力推進行動計画**」(2014年11月20日 役員会承認)

<https://www.gifu-u.ac.jp/about/approach/diversity.html> を策定し、構成員の意識改革・環境整備などによって、多様性人材活力推進に係る岐阜大学の理念を着実に実践してゆくことをめざしています。

基本方針にもとづき、ダイバーシティ推進のための企画・立案・実施方針の策定などをおこなう「**多様性人材活用推進会議**」は、学長を議長とし、理事、副学長、学部長、研究科長、センター長、部長、機構代表者、計29名で構成されています。6月14日(水)部局長・部長会終了後に開催された、第15回多様性人材活用推進会議の議事の一部をここにご紹介しましょう。

「岐阜大学多様性人材活力推進行動計画」にもとづく各部局等の取り組みに関して、すなわち、「大学運営における多様性人材活力の推進」「男女共同参画推進」「外国人構成員の支援と文化的多様性の促進」「障がいのある構成員の支援」「学生・教職員への多様性人材活力推進に関する啓発活動の推進」「地域社会・国際社会との連携を通じた多様性人材活力推進」の各事項に対応する各部局の取り組みに関して、昨年度の実施状況と今年度の実施計画に係る調査結果(各部局からの情報提供)を全学で共有し、実効性のある取り組みを今後の活動に活かすべく意見交換をおこないました。

「多様な人材参画推進室」設置や「研究補助員配置制度」の運用など、工学部の特筆すべき取り組みについては、「かもみーる通信」95号(2018年5月)でもご紹介したところですが、さらに工学部では、当面すべての教員公募にあたり、「**本学では、男女共同参画社会基本法の趣旨に則り、男女共同参画を推進しています。業績や能力などが同等であれば女性を採用する方針であるため、女性研究者の積極的な応募を望んでいます。**」という文面を掲載することを義務づけるなどの取り組みが進められています。工学部とともに応用生物科学部では、**女性教員限定公募による採用**の実績が着実に挙げられていることも、すでに周知の通りです。

さらに、民間からの有識者を病院長特別補佐として登用(附属病院)、障害者枠で非常勤講師を雇用(学務部)、構成員のニーズにもとづく勤務時間シフトの実施(保健管理センター)、妊娠中・育児中の職員に配慮した授業・委員会担当体制の整備(地域科学部)、ノー残業デーの実施(財務部・施設部・学務部等)、外国人構成員に向けてのホームページ英語版の充実・更新(総合企画部等)、障害者用駐車スペース設置(工学部・地域科学部等)、車椅子使用学生のための緊急避難時用エア・ストレッチャーの配置(地域科学部)、人権学習・ジェンダー研究関連授業の充実(教育学部)、県下自治体における男女共同参画推進審議会への委員派遣(教育学部、地域科学部、工学部等)、障害のある学生のサポート体制の構築・運用(障害学生支援室、保健管理センター等)等々、「多様性人材活力推進行動計画」に則った**堅実な取り組み**が展開されていることが確認されました。

紙幅の都合で、ここにすべての取り組み内容や成果・実績について挙げることはできませんが、他にも、医学部(医学科・看護学科)では、男女共同参画推進室・人材開発部職員育成課が中心となって開催している意識改革のための各種行事への参加や、研究補助員配置制度をはじめとする環境整備のための諸制度の活用が、構成員に積極的に呼びかけられていることも確認されました。

岐阜大学における多様性人材活力推進に向けて、全部局構成員の意識改革が進み、堅実な実践活動が繰り広げられることによって、「働きやすく学びやすい岐阜大学」が実現することを心より願っています。皆さまのご支援ご協力、引き続き、どうぞよろしく願いいたします。

# サイエンス夢追い人育成プロジェクト

(女子大学院生による出前講義)

7月2日(月)、大垣工業高校にて出前講義(第127回)を実施しました。

講師の後藤可南子さん(自然科学技術研究科修士課程2年)が、「私の進路選択一やりたいたいことを一」をテーマに、岐阜大学での研究内容や学生生活のほか、現在に至るまでの進路選択や受験勉強への取り組み方などについて情報技術科の生徒38名を前に熱く語りました。

講義後の質疑応答の時間には、受験勉強のコツや自分の進路希望を親に理解してもらえるように伝える方法など、受験生の「先輩」である後藤さんに対して多くの質問があがりました。出前講義後のアンケートには「研究の面白さに触れることができた」「改めて大学に進学したいと思った」「親に反対されても自分の意志を伝えることが大切だと学んだ」などの感想が寄せられ、生徒の皆さんに多大の刺激と希望がもたらされたようです。



# 夏休みこどもガイド

7月中旬に「働く親のための夏休みこどもガイド」を発行します。

こどもガイドは、G-groupでPDFをダウンロードしてご利用ください♪

夏休みに開催される小中学生向けイベントを掲載しています。

イベント名	開催日時	開催場所	対象年齢	参加費	申込方法
岐阜大学 自然体験学習(小学生)	7/10(日) 9:00-13:00	岐阜大学自然体験センター	小学生	無料	岐阜大学自然体験センター(0582-231-1155)までお申し込みください。
岐阜県立自然史博物館 自然観察会(小学生)	7/15(日) 9:00-11:00	岐阜県立自然史博物館	小学生	無料	岐阜県立自然史博物館(0582-231-1155)までお申し込みください。
岐阜県立自然史博物館 自然観察会(中学生)	7/15(日) 13:00-15:00	岐阜県立自然史博物館	中学生	無料	岐阜県立自然史博物館(0582-231-1155)までお申し込みください。
岐阜県立自然史博物館 自然観察会(高校生)	7/15(日) 15:00-17:00	岐阜県立自然史博物館	高校生	無料	岐阜県立自然史博物館(0582-231-1155)までお申し込みください。

イベント名	開催日時	開催場所	対象年齢	参加費	申込方法
岐阜県博物館 自然観察会(小学生)	7/10(日) 9:00-11:00	岐阜県博物館	小学生	無料	岐阜県博物館(0582-231-1155)までお申し込みください。
岐阜県博物館 自然観察会(中学生)	7/10(日) 13:00-15:00	岐阜県博物館	中学生	無料	岐阜県博物館(0582-231-1155)までお申し込みください。
岐阜県博物館 自然観察会(高校生)	7/10(日) 15:00-17:00	岐阜県博物館	高校生	無料	岐阜県博物館(0582-231-1155)までお申し込みください。

イベント名	開催日時	開催場所	対象年齢	参加費	申込方法
河川環境家畜 自然発見館 自然観察会(小学生)	7/10(日) 9:00-11:00	河川環境家畜 自然発見館	小学生	無料	河川環境家畜 自然発見館(0582-231-1155)までお申し込みください。
河川環境家畜 自然発見館 自然観察会(中学生)	7/10(日) 13:00-15:00	河川環境家畜 自然発見館	中学生	無料	河川環境家畜 自然発見館(0582-231-1155)までお申し込みください。
河川環境家畜 自然発見館 自然観察会(高校生)	7/10(日) 15:00-17:00	河川環境家畜 自然発見館	高校生	無料	河川環境家畜 自然発見館(0582-231-1155)までお申し込みください。

イベント名	開催日時	開催場所	対象年齢	参加費	申込方法
花火に行こう	7/10(日) 18:00-20:00	岐阜県立自然史博物館	小学生以上	無料	岐阜県立自然史博物館(0582-231-1155)までお申し込みください。

## シンポジウム報告

6月30日、お茶の水女子大学にて開催された国際シンポジウム「女性リーダーはいかにして『育つ』か？」にコーディネーターの落合絵美が参加しました。

第1部の基調講演では、野田聖子総務大臣兼女性活躍・男女共同参画担当大臣および陳善美（チンソンミ）韓国国会議員が登場しました。野田大臣は、日本は先進国のなかで（韓国と並んで）際立って女性管理職比率が低い国であること、このことは国会や市区町村議会に占める男女議員比率においても同様であり、女性議員の少なさが女性特有の課題が議会において取り上げられにくいことにつながっていることを指摘しました。陳議員は、韓国の戸主制度（男性を家族の筆頭者＝戸主とする制度）の違憲判決を求める裁判に弁護士として参加したことを通して「人の生活を抑圧する法律を変えたい」との思いから政治家になったこと、2005年に比例代表選挙の候補者名簿の女性割合を50%とするクオータ制度がスタートしたことで女性議員比率が増加したものの依然として国際基準に比べて低位であることなどの報告がありました。

続く第2部では、円より子元参議院議員とヨハンナ・ウッカマン社会民主党常任理事（ドイツ）がパネリストとして登壇しました。円元参議院議員は政党執行部において女性が圧倒的に少ないことや長年取り組んでいる女性政治家養成スクールにおける取り組みについて、ウッカマン社会民主党常任理事は同じ行為をしたときに男女によって評価が変わる（例：権力者に対して異議申し立てをしたとき、男性であれば「勇敢」と評価されることが女性の場合は「ヒステリック」とバカにされる）など、どの報告も政治の世界で女性が活躍することの困難そして将来への希望を感じさせる、若い世代へのエールが込められた内容でした。



## 保育園たより

つばめ



かもめ



すこやか

